

キーワード: **摂食障害** **発達障害** **孤立防止** 活動地域: 東京都
テーマ: 高齢者や障害児・者などが地域で普通の暮らしをすることを
支援する事業

団体名: **日本アノレキシア・プリミア協会**

事業名: 摂食障害いのちと地域をつなぐ全国事業

助成金額: 7,530 千円 事業年度: 平成 26 年度

団体概要

住所: 〒156-0057
東京都世田谷区上北沢 4-19-12
シャンボール上北沢 212

連絡先: 03-3302-0710
(月・水・木・金 13 時～16 時)

HP: <http://naba1987.web.fc2.com/>

事業背景

摂食障害は、成長過程での葛藤等、様々な要因がからみあって生じると考えられており、うつ病や引きこもり、依存症等、様々な問題や生きづらさが重複しているケースもよく見受けられます。

このため、医療的なケアだけでなく、摂食障害の要因や重複障害からの支援もあわせて行うことが必要ですが、他分野からの支援に辿りつかないために、摂食障害が長期化し、社会的な孤立の長期化が課題となっています。



事業概要

全国 5 か所で開催したセミナーは、前年度に蓄積したノウハウを医療・福祉・教育・相談等の支援職従事者や支援団体、当事者、一般市民等を対象に広げる内容となっていました。また、セミナーの登壇者には、地元の当事者や地元で活躍する専門家を起用しました。こうした工夫をこらしたセミナーは、摂食障害者への支援方法に行き詰まり、

孤立感を抱いていた支援者にとっての突破口になりました。



セミナーの様子

ここに注目！

セミナーは、地域で摂食障害者の支援を継続させるための工夫が大切になされていました(地域の支援団体との協働開催、摂食障害を支援できる団体等の発掘、支援者同士のネットワークの強化等)。助成期間中から、自助グループが自発的に立ちあがったり、各地の医療・相談機関から助成事業をモデルとした活動を実施したいとの相談が多数寄せられています。



キーワード: **高齢者** **認知症** **認知症カフェ** 活動地域: 東京都
テーマ: 高齢者や障害児・者などが地域で普通の暮らしをすることを
支援する事業

団体名: **特定非営利活動法人
地域認知症サポートブリッジ**

事業名: 認知症の人が働けるコミュニティカフェ事業
助成金額: 6,728 千円 事業年度: 平成 26 年度

団体概要

住所: 〒181-0016
東京都三鷹市深大寺2-40-23

連絡先: 090-4349-1130

HP: <http://www.dsbridge.or.jp/about/>

事業背景

認知症により引きこもりがちになり、社会から切り離され、その結果、高齢者を支援する様々なリソース(民生委員、地域包括支援センター等)や制度(介護保険制度等)の支援からこぼれてしまう人たちが多数存在しています。

このような方々を支援につなぐことが必要であるとともに、認知症の人も役割をもって社会へ参加する等、社会とのつながりをつくることが求められます。

事業概要

助成事業では、世代を超えて誰もが気軽に集えるコミュニティカフェを運営しました。認知症の人が、カフェを利用するだけではなく、お客さんの注文を聞いたり、飲み物を届ける等、当人が社会的な役割(つながり)を得ながら、働くことのできる場をつくりました。

さらには、カフェを拠点として、行政、地域包括支援センターとの連携の中で、認知症により見守りが必要な高齢者等を対象に自宅へ訪問する配茶サービスを行いました。見守りをかねたこの配茶サービスでは、認知症患者にも同行してもらうことで心のケアや外出のきっかけにもつなげていました。

ここに注目！

コミュニティカフェの運営を通して、自治体、民間介護事業者、ボランティア団体等が連携でき、世代を超えて地域の人との交流が図られました。

配茶サービスでは、当事者の方と一緒に専門支援員が訪問し、難しい支援にも対応しています。また、様々な機関と連携したことで医療機関や介護、福祉施設による支援が必要なケースも、それぞれの専門機関にスムーズにつなぐことができます。



“配茶”サービスで、お宅訪問をし、見守りをする様子